

教員名(Name) : 山内 進

***授業概要 Outline of the contents**

『コミュニケーション・文化・社会・第二言語習得論』

言葉を媒体として行うコミュニケーションは、単に情報の伝達のみでなく、人間関係を築くための役割も果たしている。言葉を使って「何を言うか(what to say)」だけが重要ではなく、その言葉を「どのように言うか(how to say)」という理解・認識が必要であろう。このような「会話のしくみ」は母語によるコミュニケーション場面では無意識の理解に基づいて行われることが多いが、外国語学習者にとってはかなり困難であると考えられている。本ゼミではそのような会話のしくみについて、英語で書かれた英文を読むことで英語によるコミュニケーションについての理解を深めることが目的である。Deborah Tannen 著 *That's not what I meant: how conversational style makes or breaks relationships*、あるいは *You just don't understand: men and women in conversation* などはそのようなテーマで書かれた大変に興味深い書であり、本ゼミで使用する。また、日本人が英語を学ぶ意義や具体的な学習方略等についての理解を深め、個人の英語習得・外国語習得に対する取り組みについても考える機会を提供したいと計画している。グローバル化の中で日本人が英語を学ぶ意義や勉強方法、言語と文化、言語と社会の関わりなどといったテーマについての理解を深めることは、さらに英語によるコミュニケーション能力の養成に必要となるからである。

***授業の形式 How the class is conducted**

上記記載の各テーマに関して書かれた英語の論文の読解を中心に講義、ディスカッション、グループ討議など様々な形式で行う。

***課題・成績評価基準 Requirements and Assessment**

各自の割り当て部分の発表、ディスカッションへの貢献度、課題などを総合的に判断する。

***その他 Others**

割り当て部分のプレゼンはもちろんであるが、クラスでのディスカッションや質疑応答に積極的に参加すること。また、特に発表担当日には欠席しないこと。